

今年の大麦は、積雪期間が長かったので生育は平年より遅れています。

ほ場の排水状況の点検を行い、ほ場内に水が停滞しないよう、排水溝の手直しを行うとともに、深く掘り下げた排水口への連結を徹底しましょう。

## 1. 排水の徹底

冬期間の降雪などで、排水溝が崩れたり、溝に水が溜まっているほ場は、早急に手直ししましょう。

### 【排水対策の主なポイント】

- ①崩れた排水溝の手直し
- ②溝の連結及び排水口の点検・補修
- ③排水口の掘り下げ
- ④水が溜まりやすいところは、補助排水溝を増設する



※ 水が流れるように溝を手直しする

## 2. 消雪後の追肥（分施栽培）

…追肥前に排水溝の手直しも実施

※施用していない場合は、すみやかに実施

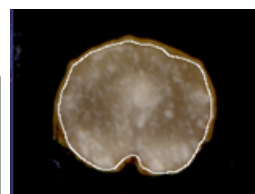
肥料名	施用量(kg/10a)
硫 安	20

※基肥一発肥料（LP大麦48号）を使用したほ場は、葉色が淡くても「消雪後の追肥」は施用しないでください。

硝子粒（右の写真参照）が増加し、品質が低下します。

### 注意事項

本年は積雪日数が多かったため、出穂期は平年よりやや遅い4月中旬頃となると見込まれます。防除作業が遅れないように準備を整えましょう。



硝子粒(切断面が透きとおっている)